



学校だより



丹波篠山市草ノ上 108 TEL558-0116 fax558-0260 令和7年10月号 No.6

「未来へはばたけ！」

校長 安井健二

10月7日に多紀小学校創立10周年を祝う運動会を開催しました。当初、10月4日に開催する予定でしたが、順延に次ぐ順延で大変ご迷惑をおかけしました。こんなに順延するのは、今年で教師になって36年目ですが初めての経験でした。しかも火曜日開催でしたので、「おそらく観に来ていただける人は少なくなるだろうなあ」と思っていました。思いの外たくさんの方々にお越しいただきました。ありがとうございました。

休憩時間に観覧席を回りながら「大変長らくお待たせしました。」とご挨拶すると、笑いながらたくさんの方々、「ほんまに待ったわ!」「せやけどよう晴れたし、結果オーライや、校長先生」と声をかけていただきました。ホッとする気持ちと、多紀地域の方々の温かさを改めて感じました。

さて、10月13日、184日間開催されていた大阪万博が閉幕しました。前回1970年の大阪万博では、まだ4歳のかわいい(?)私の写真が残っていたので、「たぶん行ったんだろうなあ」と想像できましたが、59歳で開催された今回の生涯2回目の大阪万博では、結局成長した記録を残すことができないまま幕を閉じてしまいました。

その万博では「空飛ぶ自動車」「人間洗濯機」などが紹介されていましたが、近々訪れるであろう未来を想像するとワクワク感とあまりの変化への不安感、そして不思議感が入り混じるような感覚に陥りました。そして、その未来を生き抜く「多紀っ子」を含む子どもたちには、今どんな力を付けなければいけないのかという気持ちにもなりました。

先日の新聞にノーベル生理学・医学賞を受賞された大阪大学の坂口志文さんの記事がある新聞に載っていました。

それを読んでみると、坂口さんは3人兄弟の次男で、小学生時代は友人と琵琶湖で水泳を楽しみ、中学時代は軟式テニスや油絵を楽しんでいた「どこにでもいる田舎の少年だった」そうです。そんな田舎の少年がどのようにしてノーベル賞にまでたどり着いたのかが疑問でした。もう少し読み進んでみると、それを解く鍵となる坂口さんの二つのエピソードが載っていました。

一つ目は、坂口さんの「蔵書の多さ」に友人が驚いたというエピソードです。しかし、ただの読書好きではなく、その向き合い方に違いがありました。「本に書かれたことだけを知っても駄目だ。自分で見つけ出したものこそ本当の知識だ。」と言われたそうです。なかなかたどり着けない領域です。

二つ目は、大学受験に失敗後、塾とかではなく地元の公共施設などで一人で学ばれた時のことです。独学ですから「分からないことがあると、自分一人で考えざるを得なかった。自分でものを考えるきっかけになった。」そうです。

そうした経験を通して、「能動的に見る」＝「表面的に眺めるだけではわからないことも、時代の常識にとらわれず、見方を変えながら観察すると新しいことがわかってくる」という研究の姿勢、すなわち「観察眼」が養われ、加えて、全く研究が認められない時期も不遇とは思わず、淡々と粘り強く研究し続ける「うどんのような神経」が育ったとも書いてありました。

「多紀っ子」が、将来研ぎ澄まされた「観察眼」、そして「うどんのような神経」を身に付け、複雑、多様な未来社会を生き抜くためには、「人」「環境」「温かさ」が揃ったこの「ふるさと多紀」でどのような少年時代を過ごすかによるところが大きいと思い、改めて責任を痛感しました。

運動会「感動をありがとう！」



10月7日（火）、本年度のスローガン「10年、ありがとう。未来へ、はばたけ」のもと、創立10周年の運動会を開催しました。今年は初めて「たき認定こども園」と合同での開催になりました。

例年と違い、園児の微笑ましい演技を見た後で、小学生の演技を見ると、1年生でも半年間の小学校生活でずいぶん大きく、力強くなっていることがわかりました。ある保護者の方が、「去年はできなかったことを〇〇ができて感動しました。」と言われるのを聞き、うれしくなりました。

また、全校生が行う応援合戦では、練習が始まったころは「どうなるんだろう？」と思って見ていましたが、紅白のリーダー、そして6年生が中心となって頑張ってくれたおかげで、紅白とも私が見た小学校の応援合戦の中では、「声の大きさ」「チームワーク」「応援の工夫」ともに最高の完成度だったと思います。

閉会式後、6年生が小学校最後の運動会を終え、グラウンドを一周して最後に「ありがとうございました！」と挨拶をしたフィナーレでは、見ていて感動し涙が出そうでした。

多紀っ子が一つにまとまって、また新しい多紀小の歴史が加わりました。ご声援、ご参加ありがとうございました。

運動会后、創立10周年記念事業として、参加者全員がPTAを中心に作っていただいたうちわをもって、民謡歌手のSeimaさんの歌声に合わせて「多紀町音頭」を踊り、創立10周年を祝いました。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



修学旅行で広島に行ってきました



10月15日、16日、6年生が広島へ修学旅行に行きました。

1日目、事前の平和学習で被団協の方からお話を聞いていたので、そのお話を思い出しながら、平和記念資料館、原爆ドーム、原爆の子の像などの碑巡りをし、「戦争の悲惨さ」と「平和の尊さ」を感じることができました。改めて、「この平和をこれから守っていかなくてはならない」という誓いをしました。

その日の宿泊先は宮浜グランドホテルでした。誰もが楽しみにしていたホテルでの友だちとの一時はきっと良い思い出としていつまでも心に残ることでしょう。

2日目は、ホテル出発後フェリーで宮島に渡り、厳島神社、宮島水族館を見学した後、広島焼を頬張りました。一瞬で完食する人もいました。最後は、お楽しみのお土産購入タイムでした。それぞれが家族のことを考えながら、そしてお小遣いと相談しながら、思い思いのお土産を購入していました。

すべての日程を雨に降られることもなく全員元気に終わることができました。広島に別れを告げ、適度にバスに揺られ、心地よい時間を過ごしながらかつ多紀小への帰路につきました。

18名の6年生にとって思い出に残る修学旅行になったことだと思います。

